



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL http://zigexn.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)平尾 丈
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理グループリーダー (氏名)松浦 晃久 (TEL)03(6380)2651
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	571	24.9	260	10.8	260	10.4	159	11.0
26年3月期第1四半期	457	—	235	—	235	—	143	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 158百万円(10.0%) 26年3月期第1四半期 143百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	3.08	2.97
26年3月期第1四半期	2.87	—

(注) 1. 当社グループは、第1四半期の業績開示を平成26年3月期から行っているため、平成26年3月期第1四半期の対前年同期増減率の記載はしていません。

2. 平成26年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在しますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

3. 当社は、平成25年9月4日付で普通株式1株につき35,000株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,472	2,212	89.5
26年3月期	2,534	2,053	81.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,212百万円 26年3月期 2,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,718	41.0	1,199	31.2	1,199	33.9	631	17.7	12.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	51,691,200株	26年3月期	51,691,200株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	ー株	26年3月期	ー株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	51,691,200株	26年3月期1Q	50,050,000株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は平成25年9月4日付で普通株式1株につき35,000株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済・金融政策を背景に、為替水準の安定化や株価の上昇が進みました。また、個人消費動向については消費税増税の影響が見られたものの、雇用の増加や生産高の拡大など企業活動は活発に推移し、景況感全般としては緩やかな回復が継続いたしました。

当社グループが属するインターネット分野におきましては、スマートフォン契約者数の増加やタブレット端末の普及により、インターネット利用シーンの多様化並びに利用頻度の増加が見られ、市場規模もそれに伴い拡大しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、引き続き、既存事業の展開領域及び展開地域の拡張と新規事業の創出並びにビジネスモデルの多様化に努めて参りました。

既存事業においては、前連結会計年度にリリースした「旅行EX」をはじめとして、複数の大手顧客との提携や新規顧客の開拓によりデータベースの拡充に努めて参りました。技術面では、ウェブサイト改修が進捗しており、変化する市場動向に適合すべくサービスの最適化を図っております。また、提供するコンテンツとユーザーニーズのマッチング精度の改善、ユーザー行動の分析によるサイト機能の改善等、ユーザービリティの向上に取り組んで参りました。

また、ベトナムの戦略子会社ZIGeXN VeNtura Co., Ltd. が既存事業のみならず新規事業のオフショア開発拠点として機能し、グローバルを対象とするサービスを含む複数のサービスのフィジビリティスタディを行って参りました。一方、国内の戦略子会社株式会社にじげんにおいては、ユーザー課金型のサービスに対して積極的な追加投資を行い、収益性の向上を図って参りました。また、当連結会計年度より始動いたしました株式会社よじげん証券においても、IPO価値創造事業を開始するなど、「ユーザーの生活機会の最大化」というミッションのもと、連結グループ経営の強化に努めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は571,615千円（前年同期比24.9%増）、売上総利益は545,999千円（前年同期比27.2%増）、営業利益は260,401千円（前年同期比10.8%増）、経常利益は260,164千円（前年同期比10.4%増）、四半期純利益は159,439千円（前年同期比11.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,472,279千円（前連結会計年度末比62,005千円減）となりました。

なお、流動資産は2,256,364千円（前連結会計年度末比88,232千円減）となりました。これは主に、現金及び預金が16,429千円増加した一方で、売掛金が68,723千円減少、未収入金が30,213千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は215,915千円（前連結会計年度末比26,226千円増）となりました。これは主に、無形固定資産が25,228千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債総額は260,134千円（前連結会計年度末比220,423千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が177,182千円減少、未払金が63,225千円減少した一方で、未払費用が17,590千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、2,212,145千円（前連結会計年度末比158,417千円増）となりました。これは主に利益剰余金が159,439千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成26年5月14日に公表しました内容に変更ございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,903,832	1,920,262
売掛金	332,006	263,282
その他	108,982	72,982
貸倒引当金	△224	△163
流動資産合計	2,344,596	2,256,364
固定資産		
有形固定資産	83,622	84,335
無形固定資産	23,993	49,221
投資その他の資産	82,072	82,358
固定資産合計	189,688	215,915
資産合計	2,534,285	2,472,279
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	274,224	97,041
その他	188,628	145,323
流動負債合計	462,852	242,365
固定負債		
資産除去債務	17,704	17,768
その他	0	0
固定負債合計	17,704	17,768
負債合計	480,557	260,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,366	531,366
資本剰余金	531,366	531,366
利益剰余金	989,719	1,149,159
株主資本合計	2,052,451	2,211,891
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,276	253
その他の包括利益累計額合計	1,276	253
純資産合計	2,053,727	2,212,145
負債純資産合計	2,534,285	2,472,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	457,654	571,615
売上原価	28,349	25,616
売上総利益	429,305	545,999
販売費及び一般管理費	194,260	285,597
営業利益	235,044	260,401
営業外収益		
受取利息	20	0
為替差益	244	-
その他	273	24
営業外収益合計	538	24
営業外費用		
為替差損	-	261
営業外費用合計	-	261
経常利益	235,583	260,164
税金等調整前四半期純利益	235,583	260,164
法人税、住民税及び事業税	79,485	95,252
法人税等調整額	12,474	5,472
法人税等合計	91,960	100,725
少数株主損益調整前四半期純利益	143,623	159,439
四半期純利益	143,623	159,439

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	143,623	159,439
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	344	△1,022
その他の包括利益合計	344	△1,022
四半期包括利益	143,967	158,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,967	158,417
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループは、ライフメディアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ライフメディア プラットフォーム事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	571,615	571,615	—	571,615	—	571,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	12,000	12,000	△12,000	—
計	571,615	571,615	12,000	583,615	△12,000	571,615
セグメント利益	259,937	259,937	464	260,401	—	260,401

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、証券事業等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、平成26年7月17日開催の取締役会決議において、株式会社ブレイン・ラボの全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ブレイン・ラボ（以下「ブレイン社」）	
事業の内容	人材紹介会社向けコンサルティング、サポート業務等	
規模	（平成25年10月期）※	
	総資産	134,170千円
	純資産	56,136千円
	売上高	301,745千円
	経常利益	75,949千円
	当期純利益	45,856千円

※当該注記は監査証明を受けておりません。

(2) 企業結合を行った主な理由

ブレイン社買収により、ブレイン社の求人業界向けシステムを提供することで、B2B事業領域へと参画し、ビジネスモデルの多角化を図るとともに、市場拡大の見込まれる求人市場でのサービス強化を図ることを目的としております。また、データベース・システム構築面でのシナジーの創出により、当社グループの事業・収益基盤の更なる拡大を図るためです。

(3) 企業結合日

平成26年7月17日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

結合後の企業名称の変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権比率の100%を所有したため、当社を取得企業としております。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	企業結合日に交付した現金	1,170,000千円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	1,000千円
取得原価		1,171,000千円

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方及び償却期間

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。